

# 岡部徳三

TOKUZO OKABE

1932 東京生まれ

1958 (26歳) 久保貞次郎を中心とした創造美育協会の活動に工房開設まで参加

1964 (32歳) 第4回東京国際版画ビエンナーレで髪囀作シルクスクリーン「フット・プリント」に衝撃を受ける

岡部版画工房設立 (神奈川県秦野市)

1973 (41歳) 渡米、ニューヨークでナム・ジュン・パイク (白南準) と出会う

1970 (38歳) - 1993 (61歳) 美学校講師

1978 (46歳) - 1981 (49歳) 東京芸術大学非常勤講師

1983 (51歳) - 1992 (60歳) 愛知県立芸術大学非常勤講師

1986 (54歳) - 1988 (56歳) 武蔵野美術大学非常勤講師

1991 (59歳) 工房新設 (神奈川県足柄上郡松田町)、同時に岡部版画出版設立 (神奈川県秦野市)

2004 (62歳) 東京都国立市にショールームKORINO設置 (2006年6月閉鎖)

2006年6月9日逝去享年74歳

※非常勤講師在勤期間は各文献で異同があったため、今回各大学に照会、確認した

岡部徳三は1964年、自刷りの版画家ではないアーティストの自由な発想をシルクスクリーン版画にし、販売するというシステムによる版画工房を日本の草分けとして設立した。岡部は2006年に逝去するが、現在も「職人になれ、職人としての自覚を持つように」という精神は受け継がれ、工房での版画制作は続いている。

工房に集う作家は、美術家、映像作家、音楽家、写真家、人形作家、デザイナーと様々な分野にわたり、作家と刷師のコラボレーションのもと、日々研究と試行錯誤を重ねながら、新しい版画表現とオリジナルな技術が生み出されている。